富士教育訓練センター　派遣企業を訪問

「社員の成長なくして会社の成長なし」

㈱橋本組（静岡県焼津市）

「社員の成長なくして会社の成長なし」というのが㈱橋本組（静岡県焼津市）の橋本真典代表取締役の信念。「14カ月研修」の制度を知って応募してくる学生も多いとのことで、学部学科不問で、ここ数年新卒者を毎年20人採用し続けています。富士教育訓練センターには平成9年度から社員を送り出し、令和3年度から自社コースを設けています。同社の人づくりの仕組みなどについて、支援部の橋本節子部長に伺いました。

橋本真典
代表取締役

――新卒者の採用状況は。

「令和元年度から毎年20人程度採用しています。社長の方針で、橋本組では『超働き方改革』を推進しており、現場の人員配置に厚みをもたせ、交代で休みをとれるような体制を整えています。若手を育てて建設業界の将来につなげるため、あえて採用を強化しています。高卒から専門学校卒、大卒、院卒まで学部学科不問で、土木・建築を一切学んでいない学生も採用しています。『超働き方改革』を進める上で、新卒の新しい感覚の人たちを育て、ベテラン社員の意識を変えていくという狙いもあります。」

――新入社員の14カ月研修はどのようなものですか。

「社内の全ての部署に送り出し、一定期間ずつ業務を体験させるローテーション研修です。土木・建築・住宅の現場、設計、積算、営業、リフォームなどを担当するサポートセンター、生コン工場、さらには本社受付での電話・接客対応も行います。ものづくりの喜びを体験してもらう『大工研修』もあります。以前は東北の復興支援にも送り出していました。施工条件が地方とは異なる東京支店にも送り出しています。」

「研修を通じ会社の全体像をつかむことができます。社員を知り、自分の顔と名前を覚えてもらい、自分の強み弱み、適正を知ってもらうことで、本当にやりたいことを見つけ、キャリアプランを描いてもらえます。また、コミュニケーション能力も向上します。配属後のミスマッチを防ぎ、離職率の低下につながっています。14カ月の間、新入社員は会社にとって丸々コストになるのですが、そこは腹をくくってやっていこうということです。」

――定着率はどうですか。

「2年目以降の社員では8割以上が在籍し活躍しています。橋本組には部署も現場も数多くあるので、研修を通じて自分の可能性を感じてもらい、自分の輝ける場所を探してもらいたいと思っています。」

●14カ月研修で高い定着率●

「14カ月は1年と2カ月ですから4、5月は前年入社と今年入社の研修生が重なります。前年入社の研修生は後輩が入ってきたことで一気に引き締まります。今年入社の研修生は、自分たちの1年後の姿が想像できて安心感を得ます。研修の修了式では1人ずつプレゼンをします。修了式には新入社員も参加します。この重なる2カ月は、2年間の新入社員同士が関わり合うことができる貴重な期間です。」

――研修の中で、富士教育訓練センターの位置付けは。

「6月ごろに3週間の日程で受入れをお願いしています。新入社員は学部学科不問で採用していますので、センターでの研修が必須になっています。採用に際して、基礎知識がなくても訓練センターで建設の基礎が学べるので心配しなくても大丈夫だと伝えています。土木とは、建築とは、建設とは、その成り立ち、工事の流れを体系立てて教えることが社内では困難です。訓練センターはそれを学ぶことができる貴重な場所です。送り出す際には、『会社の代表で行くことを忘れないように』と伝えていますが、センターの先生方からも建設のことはもとより社会人としての在り方を厳しく指導していただけるので本当にありがたいと思っています。他社の皆さんからも学んでもらいたいと思っています。」

「令和3年度からは、念願だった当社だけのコースをつくっていただき、新入社員全員をまとめて受け入れていただいています。勉強だけでなく新入社員同士の絆も深められています。」

――改善点はありますか。

「現在のプログラムに何か付け加えて、さらに充実できればと考えています。『こういうこともできますよ』という情報があったら教えていただければありがたいです。」

――社員教育での課題は何かありますか。

「研修後、本当の実力をつけて早く一人前の技術者になってもらうため、もう少しシステマティックに何かできることはないか、というのが課題です。配属されてからの成長曲線をもっと伸ばしていきたいのです。現場では若手技術者の5年間の教育プログラムを作っています。現場を運営できる実力に資格が伴い、両輪で行けると理想的ですが、そこがなかなか難しいです。資格取得の奨励では、安衛法関係は会社がすべて経費を出し就業時間内に講習を実施しています。施工管理技士などは、願書取り寄せや模擬試験、問題集の提供などを行っています。合格者には報奨金や手当を支給しています。」

「社員の皆さんには最終的に、橋本組の誰々さんにお願いしたい、と個人名で仕事の依頼が来るようになってもらいたいと思っています。あの監督さんにお願いしたい、あの設計士さん、あの営業さんにお願いしたいというように、一人一人が成長して、その人に指名で仕事が来るようになってほしいですね。」

本社１階の劇場型の「Umi-Yume Hall」は、マルシェや音楽会などの市民イベントにも開放している。写真は新入社員の研修修了式の様子。１列目の右側が橋本節子部長。写真：オフィスを除き橋本組提供

14カ月研修では事務系の女性社員も工事現場を体験

富士教育訓練センターでの研修で同期の絆が強くなる

完全フリーアドレス制のオフィスを採用。社長、役員も個室を持たない